

認知症に関する活動計画（概要）

徳島県作業療法士会では、認知症支援推進委員会を設置し、活動を行っている。

2018年に当士会の認知症支援推進委員会が作成した介護予防ツール「ラシーサカード」を用いて、今年度も地域での活動を継続し、新たな講師依頼も継続している。また、会員に対しては対面での研修会の代わりに、SNS（インスタグラム）を通しての情報発信を現在計画しており、開設を予定している。



サロンでの健康教室の様子

地域向け事業

昨年より県内人口3位の鳴門市の各サロンに講師を派遣し、ラシーサカードを用いた健康教室を開催している。地域住民主体でより取り組みやすいように新たに紙媒体資料を配布したりと、地域の要望に柔軟に対応しながら行っている。また鳴門市では昨年に引き続き交流会イベントでブースを開設し、地域職員や住民への紹介を行った。その他にご近所デイサービス交流会やシルバー大学校でも講師を行っている。

また今年度は他県の地域包括より依頼を受け、オンラインにて職員に向けた研修会を開催した。依頼のあった他県地域包括に対してマニュアルデータを提供し、その後は地域だけでラシーサカードの活用に取り組んでいただいている。



イベントブースでの紹介

会員向け事業

会員向けには今年度も、「ラシーサカード」の使用研修も実施し、作業療法士として地域で活躍できる人材育成を図っている。また今年度より県内の会員のみならず他県の作業療法士への研修会の参加を呼びかけ、全国の作業療法士の地域活動の支援につながればと考えている。

その他会員に向けての認知症の情報発信としてSNS（インスタグラム）の開設を計画している。現在、徳島県認知症支援推進委員でSNSの勉強会に参加したり、投稿のテーマを検討したり模索中である。



SNSでの情報発信
イメージ

今後の展開

「ラシーサカード」を使用したサロンでの健康教室の依頼を引き続き募集し、研修会の開催を継続予定である。また地域の要望に柔軟に対応しながら地域で活躍できる作業療法士の育成にも貢献していく。

SNSを通じた認知症の情報発信を確立させ、インスタグラムの正式な開設を予定している。また、この他にも県内会員向けに日々の業務や悩みの相談、座談会を含めた認知症OTカフェも開催予定である。



オンライン研修会